

いくには、さらなる普及啓発が必要であるため、獣医師会やボランティアの方々との協働を進めていく

とともに、動物愛護条例の制定についても、検討していき

たい。なお、条例で餌やり行為の規制を定めることについては、獣医師会やボランティアの方々から広く意見を聞きながら、慎重に検討していき



しょうがいしゃ・こうれいしゃ観光案内所の設置

問 新長崎駅に観光案内所を設置する際、障がい者・高齢者への対応ができる機能を設置する考えはないか。

答 新総合観光案内所は、新幹線の駅舎完成後の令和4年4月頃に開設する予定としており、現在の総合観光案内所と世界遺産案内所を統合・集約し、広さの拡大や、室内環境の向上を図ることとしている。

新案内所では、外国人観光客へのサービスの向上や、ワンストップ機能の充実を図るとともに、ローカウナターの設置や、障がい者や高齢者のニーズ

にも対応できるスタッフの配置など、ユニバーサルツーリズムに対応できる案内所を目指し検討を進めている。

各県大学での県外原爆展の開催

問 各県の大学での県外原爆展の開催を提案していたが、その後の検討状況を伺いたい。

答 県外原爆展は、平成6年度から開催しており、令和2年度中に鳥取県・富山県で開催すると、未開催県が解消されることになる。

大学での原爆展の開催は、次世代への被爆体験の継承が喫緊の課題となっている中、効果的な方法の一つであり、若い世代がスタッフとして携わることも重要であると考えている。

被爆者から直接体験を聞くことができない時代が近づく中、令和3年度からの若い世代を対象とした大学での原爆展の開催に向け、広島市と連携を取りながら、しつかり準備を進めていきたい。



山形市での原爆展の様子

令和長崎

市営住宅の空き室解消と環境整備

問 空き室解消と若者や子育て世帯が住みやすい住宅提供のために大胆な環境整備に取り組みすべきではないか。

答 空き室が生じる要因として、施設の老朽化やバリアフリーへの対応などの課題があるため、現在、浴室の改善やエレベーターの設置、敷地内の遊具の改修などを行っている。

また、住みよかプロジェクトの中で子育て世帯を支援する団体等と意見交換を進める中では、ハード、ソフトの両面が求められているとの意見があっており、若者や子育て世帯が住みやすい、求める住宅のあり方、民間住宅等の活用や民間との連携による新しいやり方や実験的な取り組みなど、現在、検討を始めている。

日本共産党

高齢者交通費助成金の引き上げ

問 制度開始時から助成額が据え置かれていますが、引き上げる考えはないか。

答 本市の高齢者交通費助成事業は、高齢者が公共交通機関を利用すること

で、社会活動への参加機会をふやし、生きがいを高め、介護予防につなげることを目的とし、年間5千円相当のバス・電車共通券やタクシー券などを70歳以上の方へ交付している。

平成30年度の交付率、利用率ともに9割を超えており、社会参加の促進等につながっているものと考えているが、急速に進む高齢化の影響により、対象者、事業費の増加及び社会保障費全体も大きく増加することが見込まれるため、増額は困難であると考えている。

まちなかへの市民ギャラリーの充実

問 浜町の魅力向上のため、まちなか市民ギャラリーを整備する考えはないか。

答 本市には、ブリックホール内のギャラリーのほか、まちなかを中心に民間のギャラリーやイベントホール等が複数あるため、市民ギャラリーを整備する際は、ほかのギャラリーへの影響も考慮する必要があると考えている。

しかしながら、まちなかにギャラリーがあることは、市民が芸術文化にふれる機会をふやすとともに、まちなかにぎわいにもつながるものと考えており、新たな文化施設にも市民ギャラリー機能も備えたいと考えている。

今後、皆様の意見をいただきながら検討していき